

九州ブロック 春の食育セミナー



概要

日時：5月7日(土) 14:00~17:30
場所：ハイブリッド開催
(対面：大学生協事業連合九州地区
オンライン：Zoom)

参加者

北九州市立大(2), 福岡女子大(2),
西南学院大(2), 長崎大(1), 長崎県立大シーボルト校(2),
宮崎大(1), 龍谷大(1), 東京ブロック学生事務局(1) 計8会員12人
西2地区FS職員(3), 学生事務局(7), 学生常勤(1)



[健康と安全]

01 食育活動の必要性を再確認！ ～最初のいただきますの時間～

食育活動を考えたり食に関する知識を学んだりする上で現状把握は大切です。はじめに、組合員の食育の現状を学生生活実態調査を確認しました。その後、参加者や身の回りの人の**食育の現状を振り返り**、その現状を続けるとどうなるのかを考え、**食育活動の必要性が再確認**できていました。

毎日授業が始まる時間が違い、それに合わせて起きる時間を変えたと朝ごはんを食べる時間も毎朝バラバラになってしまうので、出来るだけ毎日のリズムを変えないようにしていけたらいいなと思いました。(福岡女子大・3年)



02 お酢から食育に関心を！ ～お酢推すタイム！～

ミツカンミュージアムのオンライン見学を行い、お酢の歴史や製造方法について学びました。また、お酢の嗅ぎ比べを通して、色々な種類のお酢について体験しながら、食育により関心が向けられていました。**一つの調味料**でも深掘りすると、**様々な学びがある**ことに気付かされました。

酢という調味料を歴史的な観点から見ることで、どのように誕生して、どのように作られるのかを知ることができました。現在は多くの種類が展開されていて、それぞれに合った用途があることも初めて知りました。(西南学院大・3年)



03 自大学に帰った後の行動に活かす！ ～テイクアウト！～

セミナーでの**学びを各会員生協で活かせるよう**に、大学ごとの班に分かれて、今日の学びで印象に残ったこと、これから自大学の仲間に伝える方法を考えました。具体的な行動案も含め、しっかり考えられていました。

組合員の現在の食生活について考え、食育ボードに酢の効能などを記載し、組合員が食育ボードを見て酢を使った料理を食べてくれることにより、組合員の健康的な生活を促進させる活動をしていこうと思います！(長県大シーボルト校・2年)



つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[QBK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [古橋 怜]
Furuhashi.Satoru@univ.coop